

APPEAL

発行者
JR 東海労関西地本
大阪台車検査車両所分会
2013年 9月5日
NO.41

教育が終わっても、 見せしめ的に担務から外す会社！！

8月10日に浜松工場で、集電環箱に0リングが着いていなかったとされる一件で、担当作業者に会社は8月13日から8月20日までの5日間、いわゆる「ヒューマンエラー」による教育を行いました。

現在、担当作業者はいわゆる「ヒューマンエラー」による教育を終了し大修職場の作業に従事しています。

しかし、今回の事象とされている組込作業とシム調整作業には、なぜか？8月21日から一度も担務に指定されていません。

これでは、何のための教育だったのか？分かりません。

疑問に思った担当作業者は若木助役に直接その理由を聞きました。

そうすると若木助役は「現在、あなたが担当した輪軸の調査を行っている。」

「対象輪軸は現場とすでに運行に使われている約200本である。現在までの調査では問題は確認されていないが、調査期間中でもあり、担務から外すことを管理者として判断し現場に指示している」と答えました。

この若木助役の回答に対して、担当作業者は「会社の制度では教育を終了したら、元の担務に従事させるとなっている」

「教育は終了しているのだから、担務から外すのは問題だ」

「意図的に外すのは見せしめ以外の何物でもない」と抗議を行いました。

若木助役によるパワハラ行為を許すな！！

管理者は口を開けば「ルールを遵守しろ」と言っていますが、**自らが作った教育のルールを勝手に破っています。**

これはとんでもないことです。

そして、若木助役は担当作業者に担務を外すことを担当作業者が質問するまで説明しませんでした。

つまり若木助役は担当作業者を「見せしめ」にしているのです。

これは明らかに若木助役の担当作業者に対する

パワハラではないでしょうか？

こんなことが許されて良いのでしょうか？！